



FDG-PET検査とは・・・？

FDG-PET検査は身体の中のブドウ糖の取り込みを画像化することで腫瘍の性質や全身の分布、炎症の活動性などを調べる検査です。

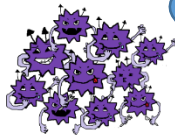
悪性腫瘍（“がん”）は正常細胞に比べ“食いしん坊”です。
多くの糖분을摂取して分裂を繰り返し腫瘍は大きくなります。

正常細胞



おなかいっぱい～

悪性細胞



もっとくれ～



脳や肝臓には、通常多くのブドウ糖が取り込まれます。炎症や活動した筋肉にもブドウ糖が多く取り込まれます。こういった糖代謝の高い臓器のほか、FDG-PETでは、排泄経路として腎臓や膀胱も映し出されます。

体の中でブドウ糖を必要とするのは“がん”だけじゃないんだね

当院のFDG-PET/CTの前処置と注意

- ◆ 5時間前から絶食（水のみ可）
- ◆ 原則内服は可
 - ・痛み止めや血圧の薬などは、通常通りに服用して来院して下さい。
 - ※糖尿病薬については絶食中は服用しないでください。
- ◆ ガム類禁止（シュガーレスも不可）
- ◆ 前日、当日の激しい運動は控えて下さい。



正確な評価を行うために
絶食と問診票の情報は
たいへん重要です。



- ・ 問診票の記入をよろしくお願いします。
- ・ 金属類（時計・義歯・かつら・眼鏡・補聴器・カイロ等）は はずしていただきます。
- ・ 衣類にファスナーやホック、ラメが入っている場合には 検査着に着替えます。
- ・ 水（300～500ml）を持参ください。
- ＊ 飲水は、薬の速やかな尿中への排泄を促し、画質の向上と、被ばくの低減につながります。



基礎知識

FDGとは Fluorodeoxyglucose の略で、“ブドウ糖もどき”のPET検査薬のことです。…もどき…なので、この注射で血糖値が上がることはなく、尿から排泄されます。薬物量はごく微量で、健康被害を与えることはありません。CTやMRの造影剤とは違い、副作用やアレルギー反応の報告もありません。

～PET検査についての基本的事項や診療上重要な注意事項、検査室からのお知らせ、進行中の研究からトピックスまで さまざまな情報を適宜ご紹介いたします～